

さらめき

No. 70



R5. 7. 22 土曜授業「ニュースポーツ体験」

「ニュースポーツ体験 モルック&ボッチャ」

～ニュースポーツを通して、木育&福祉を学ぼう～ (市渡小学校)

人と、未来と、ほくと。



♪音楽のまち・ほくと♪

今年の夏はとても暑いですが、「音楽のまち・ほくと」では、さまざまなイベントで音楽が活躍し、多くの市民の皆さんを楽しませてくれています。

♪ファミリー・コンサートを開催

8月20日(日)、北斗市総合文化センター・かなでくる大会議室で、フルートとピアノによる「ファミリー・コンサート2023」が行われました。今年で2回目となるイベントで、小さいお子さまのいるご家族みんなで気軽にクラシックコンサートを楽しめる演奏会です。



素敵な音色が響きました♪

出演したのは、北斗市在住のフルート

奏者である池田桂子さん、函館フルートオーケストラでご活躍されている滝垂矢さん、ピアニストで作曲家の山本和生さんです。デイズニーやジブリなどのアニメ音楽から童謡赤とんぼやふるさとなど誰もが耳にしたことのあるプログラムで、来場した約130名の観客を楽しませてくれました。

また、会場ではフルートの体験会も行われ、初めて手に取ったキラキラ輝くフルートに子どもたちは息を吹き込み、フルート演奏にチャレンジしていました。



上手に音を出せたかな～??

この日は、北斗市図書館の児童書の譲渡会も同会場で行われ、約1000冊の本の中から自分のお気に入りの本を興味深そうに探していました。

♪インターハイ相撲大会の開会式

8月4日(金)～6日(日)、北斗市総合体育館で全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が開催されました。全国の子選を勝ち抜いてきた300名を超える選手たちが北斗市に集結し、熱気あふれる大会となりました。



読みたい本がたくさんあったよ♪



開会式の様子

開会式では「音楽のまち・ほくと」として、吹奏楽による歓迎演奏が披露されました。「赤とんぼとふるさと」「栄光の架橋」「タマシイレボリユーション」などで大会を盛り上げました。



吹奏楽の演奏により会場のボルテージは最高潮

♪北海道大会へ！大活躍の子どもたち

合唱部と吹奏楽部の函館地区大会が行われ、各校の素晴らしい演奏が披露されました。合唱では上磯小学校と上磯中学校が、吹奏楽では上磯小学校と久根別小学校・谷川小学校合同、上磯中学校が北海道大会へ代表として選出され、美しい歌声と迫力のサウンドを伸び伸びと響かせてくれました。

(学校教育課指導主事 中條 淳也)

自然豊かな石別の「ふるさと学習」を体験しに来ませんか？

オープンスクールで魅力あふれる活動を発信中！

石別小学校

石別小学校ならではの活動として、地域の自然豊かな環境を生かした「ふるさと学習」があります。春は学校で卵からふ化させたサケ稚魚の放流や学校菜園での野菜の苗植え、夏は地元海と川にいる生きもの観察、秋は自分たちで育てた野菜を収穫して料理作り、冬は歩くスキーやゲレンデスキーなど1年を通して季節ごとの自然に触れ合う活動を行っています。



学校園で野菜の苗を植えて、朝登校したら水やりをして育てています。今では、だいぶ大きくなりました！



地域の方々と学校に花を植えました！



ウミウシ！



海の生き物を箱メガネで観察したよ！



「なんでも発表会」に向けて、休み時間も練習していました。本番は教頭先生と一緒に演奏！



「なんでも発表会」で校長先生が演奏したスリットドラム、初めて見た～！

石別小学校の学校生活を紹介します。登校後と下校前は、校長先生に挨拶をしに行きます。朝は「自分が今日頑張ること」を宣言して、帰りには「今日一番頑張ったこと」を報告しています。

授業は、複式級、特別支援級、それぞれの教室で勉強しています。また、理科と英語は専科の先生が来て、学年ごとに少人数で落ち着いて学ぶことができます。支援級の児童も、朝と帰りの会やいくつかの授業は交流級の児童と一緒にいるので、授業を受けるときはもちろん、学校生活の中でも児童間に垣根はありません。

月・水・金曜日の中休みは、児童と職員全員で担当児童が企画した「遊び集会」を楽しみます。内容は、ドッチビーやミニバレー、缶けり、各種鬼ごっこなど、毎回違う遊びになっています。また、7月には「なんでも発表会」を企画し、それぞれ事前に練習した楽器演奏、カラオケ、ダンス、国旗クイズ、手品などを披露しました。

給食は全校給食で、毎回くじ引きで席を決めて、みんなで楽しく食べています。

2学期は、中学校や地域の方々と協力して行う行事が控えています。特に、石別地区文化祭で、さらに成長した姿を見てもらえるように練習に励んでいます。

石別小学校は、1・3年生と5・6年生の複式2学級、特別支援2学級の計4学級があります。少人数のよさを生かし一人一人に合わせた主体的な学びの充実を図り、児童は落ち着いた環境で伸び伸びと学校生活を送っています。そんな学校の様子を見て活動に参加した児童が、北斗市特認校制度を利用して、今年度は4名新しく仲間入りしています。



オープンスクールではない学校行事（海浜学習）を体験しに来た5年生の男の子が、この後、新しく石別小の仲間入りをしました。

今後のオープンスクール

- 11/11(土) 焼き芋体験(収穫祭)
- 1/27(土) 歩くスキー体験
- 3/2(土) 生活・総合発表会

※詳しい内容につきましては、各学校で配布されるチラシをご覧ください。

学校の様子は、オープンスクール実施日だけでなく、いつでも見学することができますので、興味がある方はぜひ学校にお越しください。

石別小学校
ホームページ



(石別小学校養護教諭 今 香織)

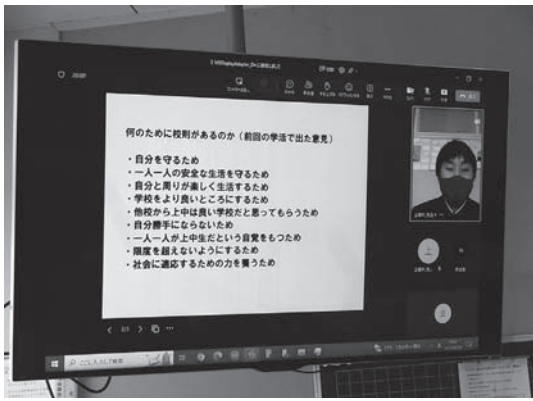
『上磯中学校の校則を美しく整える』

～自主・自律・自治の力の育成を目指して～

上磯中学校では、昨年度から「生徒心得を美しく整える」をスローガンに、校則の見直しに生徒と教師が一緒に考えながら取り組んでいます。

校則を見直す過程でより良い中学校生活について自分たちで考えることにより、自らを律する力と自治の力を磨き育てることを狙っています。

学級で校則を見直し、出された意見を生徒会書記局が集約して改訂案を提示し、さらに学級で話し合いを進めていく過程を繰り返しながら校則見直しを前年度か



書記局によりリモート配信の様子

ら始め、昨年度の時点で教室に教科書類を置いてよいなど見直しが行われ、いくつかの項目が完全実施されています。今年度は前年度に完全実施された事柄

についての状況確認から始め、見直してほしいという意見が最も多かった頭髪や身だしなみについての見直しに取り組みました。

5月に全校で行われた話し合いは、タブレットを活用してリモートで行いました。生徒会書記局がリモートで全学級に指示を出し、各学級で学級会を進めていきました。

話し合いをするうえで大切にしたいことは、禁止事項を少なくした上で「授業や運動に支障がなく、学校という場にふさわしい身だしなみを全校生徒一人一人が自分で考えられるようにしたい」という生徒会書記局が出した方針にそって話し合うということです。改訂案について各学級で活発な話し合いが行われるなかで、ただ単に改訂案に賛成か、反対かだけではなく、書記局の改訂案に変えた場合に起こりうる心配事も含めて話し合うこと

を意識しながら進めてもらいました。また、「頭髪・身だしなみ」以外にも見直すべき事項についても考えてもらったところ、たくさんさんの意見が出されました。このことから生徒の校則への関心度が高まったと考えられます。

話し合いの結果を受けて出された改訂案は現在試行期間中で、保護者の皆さんにもおたよりでご理解、ご協力をお願いしているところです。

今後は、試行後の課題や改善点を洗い出し、生徒大会を経て、完全実施となっていく予定です。生徒大会に向けての活発な意見交流も楽しみです。

生徒と教師が共通の目線で校則改正に取り組み、家庭での協力も得ながら「チーム上磯中」として校則改正に取り組んでいきたいと思えます。



学級会の様子

Kamityu Pride

美しく整える

一学期の上磯中学校の様子を受けて、前年度からのスローガン「美しく整える」に加え、上磯中学校としての誇りや意地をもってもらいたいという願いを込めて、「上中プライド (Kamityu Pride)・美しく整える」という新スローガンが浦田校長から新たに打ち出されました。

そして、浦田校長からは全校生徒に向けて、「自らの力で物事を考え問題を解決する生徒」になってほしい、そして上磯中学校の伝統である「ATM(あいさつ・時間・みだしなみ)」に加えて、「3K(考える・会話する・行動する)」を意識して生活し、それらを身に付けていってほしいというお話がありました。

また、この「3K」を意識した授業改善にも取り組んでいくこととなります。「3K」を意識した生活を送り、前述した校則改正についての取組もより良いものにしてほしいと思います。

(上磯中学校 教諭 吉澤 優子)

北斗高等支援学校 く地域で働きながら学び、学びながら働く

北斗版デュアルシステム

北斗高等支援学校は、上磯高等学校と校舎を共にする特別支援学校です。「北斗市で学び、北斗市から道南地域へ巣立ち、道南で働き、道南で暮らす人間を育てる」を基本理念に、学校と地域が連携・協力して、生徒たちの成長を支えていく学習活動を進めています。

具体的には、4つの実習の形を設け、3年間で繰り返し取り組みながら、働く力を着実に身に付けていくことができるようにしています。また、実習では、地域の企業や公共施設等に連携を依頼し、実際の現場で働く機会を多くいただいています。働きながら学び、学びながら働きます。



校内作業実習

『校内作業実習』は、校内で基礎基本を身に付ける実習です。1年生の場合、6月中旬までは、この『校内作業実習』に取り組みることになります。例えば、ビルクリーニング作業を中心とする「環境・流通サポート科」では、清掃で使用する資機材の扱い方や、基本的な清掃手順について繰り返し学びます。また、身体介助や家事援助の作業を中心とする「福祉サービス科」では、インスタントシニア（高齢者疑似体験）や車いす操作、ベッドメイキングなどの実習を通して、現場で働くための基礎知識を学びます。



デュアル実習

『校内作業実習』で身に付けた力を実際の現場で生かしながら取り組む実習が『デュアル実習』です。毎週のように北斗市の企業や公共施設において実習させていただいています。実際の現場では、その時々状況に合わせた作業の進め方が必要となるため、実践力を養う貴重な機会になっています。また、職場や住民の方々と身近に接しながら作業させていただくことで、地域で仕事をしている実感を得るとともに、卒業後、働きながら生活することへの意欲にもつながる機会となっています。



WTW（ワーク・トレーニング・ウィーク）

夏休み明けと冬休み明けの1週間は、集中的に実習だけを行う『WTW（ワーク・トレーニング・ウィーク）』を実施します。将来、一定期間連続して勤務する生活を想定したもので、持続力・忍耐力・集中力を養うことを目的としています。1年生の夏休み明けは、北斗市トマト・キュウリ共同選別施設で、トマトの

箱詰めや運搬に取り組むなど、普段の実習とは異なる作業を体験することにより、個々の適性を見極める機会として役立っています。



職場実習

3つの実習で身に付けた力を試すべく、一人で企業に向って行う実習が『職場実習』です。1年生は11月に約2週間、2年生は春と秋に約3週間、3年生は春と秋に約1カ月の期間で実施します。3年生は、就職試験を兼ねた「前提実習」として実施することになります。期間中は、自宅から直接企業に出勤するなど、卒業後の職業生活と同じスタイルでの実施となります。職場におけるルールや仕事の厳しさ、楽しさ、やりがいなどを学ぶことができます。進路選択へとつながる大切な実習となっています。



（北斗高等支援学校 教諭 釘田 芳紀）

『児童生徒の健やかな成長を目指して』

北斗市学力等向上プロジェクトの活動

今、学校教育には、子どもたちがさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、さまざまな情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築できるようにすることが求められています。

北斗市では、児童生徒が急激に変化する社会で活躍できるように北斗市内全小中学校と北斗市教育委員会が「チーム学校」「オール北斗」として連携・協働しながら教育の充実を図っています。その中に市長会長・教頭会の担当者で組織されている北斗市学力等向上プロジェクトがあります。ここでは、市学力等向上プランの作成・推進、学力等向上研修会の開催、先進校への視察の企画・運営などをしています。また、学力等向上プロジェクト通信を随時発行し、市内小中学校の教職員への情報提供や共通理解を図る取組を行っています。

6月29日(木)には、北斗市総合文化センターで、第1期研修会を開催し、各校の学力向上を担当する教諭に参加いただき、研鑽を深めました。研修会では、渡島教育局義務教育指導班主査・松本了祐様に「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学習過程の改善」と題し、授業改善についてご講話いただきました。講話では、①令和の日本型教育のゴールを目指す中で、今、どの段階につまずきがあるのかを学校全体

で把握し、改善を図ること。②社会の変化に伴い、授業スタイルが変化するのは必然であり、一斉授業自体が古いということや教師が自覚すること。③授業の中に自己決定の場を意図的に与え、ペースを子どもに委ねながら教師がその学びをコーディネートする感覚が必要なこと等、たくさんのご示唆をいただき、早速、各校の教職員へ還元し、実践するようしました。

また、学校規模ごとにグループに分かれ、各校の授業改善に向けた課題と解決策について話し合うグループ協議を行いました。各校で授業改善を進めるにあたり「子どもの興味・関心に応じた授業づくりの難しさ」「課題解決に向けた手立てへの準備の大変さ」等の課題を共有し、互いに意見を出し合いながら解決策を話し合いました。その中で、大規模校になるほど「個別最適な学び」に難しさを感じ、小規模校になるほど「協働的な学び」に工夫が必要になる傾向にあることが明らかとなりました。

12月には第2期研修会を開催し、ICTを効果的に活用した授業づくりについて研鑽を深めていきます。



松本氏による講話



グループ協議の様子

(北斗市教頭会 萩野小学校 教頭 長島 幹伸)

気持ちの上手な伝え方

市渡小学校では、3年生を対象に「気持ちの上手な伝え方」という学習をしています。

子どもだけでなく、大人にとっても参考になる内容ですので紹介します。

アイメッセージとユーメッセージ

アメリカの心理学者トマス・ゴードンが提唱したコミュニケーション技法です。誰かに何かを伝えるためには、

- ① アイ(私)メッセージ
- ② ユー(あなた)メッセージ

という2つの伝え方があります。

同じ内容でも、誰を主語にして話すかによって、受け取る印象が変わります。

ユー(あなた)メッセージは、攻撃的なメッセージだと受け止められることがあります。アイ(私)メッセージは、相手が自分の行動を振り返り、心を動かされることが多いといわれています。



I メッセージ



You メッセージ

例えば、このように言い換えられます。

ユー(あなた)メッセージ	アイ(私)メッセージ
どうして片付けないの？	片付けてほしいな。
どうしてそんな言い方をするの？	そういわれると悲しいな。
どうしてそんな場所に行くの？	その場所に行くのは心配だよ。

アイ(私)メッセージの方が素直になれそうな気がしませんか？

言いづらいことを

いうときも、アイ(私)メッセージの方が伝わりやすいとされています。

お互いの気持ちを大切にするためにも、日頃からアイ(私)メッセージで話せるといいですね。



(北斗市学校保健会 市渡小学校養護教諭 吉田 美奈子)

暑さに負けず学んだよ!!

教育委員会では、子どもたちの生涯学習の場として夏休みに2つの事業を行いました。

イングリッシュキャンプin茂辺地

夏休み初日の7月27日(木)、今年も英語力の向上に特化した教育活動を行っている茂辺地小中学校を拠点に「イングリッシュキャンプin茂辺地」を開催しました。

昨年は午前みのみのプログラムで開催しましたが、今年は午後3時までとし、小学生41名、中学生12名の参加者と、ALT4名、遺愛女子高等学校英語科の生徒11名を中心としたスタッフで楽しく英語に触れながら学びました。

アイスブレイクで緊張をほぐした後は、グループで街探検へ出かけ、オールイングリッシュで遊ぶゲーム「BINGO SMASH(ビンゴスマッシュ)」を行い、キャラクターに扮したスタッフに子どもたちは英語で積極的に質問しました。昨年より少しルールを難しくしましたが、グループで協力して次々にビンゴを完成させていました。

気温30度を超える炎天下で行われ、少し疲れが見える子どもたちでしたが、昼食は茂辺地住民センター集會室に集まり、



アイスブレイクで緊張をほぐそう



たくさんビンゴできたよ

冷房の効いた涼しい部屋でスタッフが作ったカレーライスを食べました。

おなかを満たされた後は、そのまま集會室で振り返りを行い、子どもたちはステージに上がり、英語で2分間の感想発表を行いました。中には、身体を使ってパフォーマンスを行うグループもあり、会場はとても盛り上がりました。



カレーおいしいね



みんなで考えたパフォーマンス

来年は、更に活動時間を増やし、英語に触れる時間、仲間と過ごす時間を大いに楽しんでもらえたらと思います。

きつずアドベンチャー2023

夏休みも終わりに近い8月17日(19日)にかけて「きつずアドベンチャー2023」を開催し、小学生11名、中学生5名が参加しました。

この事業は、北斗ロータリークラブ、陸上自衛隊函館駐屯地、隊友会北斗市支部、南渡島消防事務組合北斗消防署、北斗スポーツクラブなどの協力を得ながら行われ、小学4～6年生を対象とし、また、中学1～3年生はジュニアリーダーとし、自然活動を通して子どもたちの健全育成を図ることを目的としています。

8月17日(木)は事前研修として北斗市総合文化センターかなでるで、南渡島消防事務組合北斗消防署による一般救急講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使用手法など、大切な命を救うための応急手当の方法を学びました。



心臓マッサージを学びました

18日(金)からは、待ちに待ったきじひき高原でのキャンプによる体験活動を行いました。気温30度を超える炎天下のもと、自分たちが寝泊りするテントを設営しました。それからはサッカーをし

たり、虫捕りをしたり、子どもたちは伸び伸びとした時間を過ごしていました。

昼食後は、モルックを体験し、大人も子どもも夢中になって真剣勝負を行いました。夕食では、4グループに分かれてスープ作り対決を行い、厳正なる審査の結果、ポトフを作ったオレンジチームが優勝しました。子どもたちが作った4種類のスープ、飯ごうで炊いたホカホカのお米、バーベキューや焼きそばでおなかいっぱいになりました。真っ赤な夕焼け、美しい夜景も見ることができました。

2日目の朝は駒ヶ岳側に雲海も見られ素敵なお朝を迎えましたが、陸上自衛隊函館駐屯地第28普通科連隊による防災体験プログラムの時には、辺り一面が白い霧に包まれ、次第に雨模様となりました。昼食は、自衛隊特製のカレーライスをたくさん食べ、今回の振り返りを行い、幕を閉じました。



霧の中でロープ訓練



テント設営うまくできた♪

4年ぶりの宿泊を伴う事業は、広大な大自然で実施され、子どもたちは一段とたくましく成長したと思います。

(社会教育課 木島 悠)

北斗市立図書館だより

特別に暑かった夏も過ぎて秋の到来です。読書の秋に、皆さんに楽しんでいただける展示、イベントを多数、企画しましたので、ご紹介します。

夜の図書館 「ナイトライブラリー」

館内の照明を消した暗い図書館。いつもと違う図書館を探索してみませんか？ハロウインの雰囲気 皆さんをお迎えします。★仮装での参加も大歓迎です★

●日時：10月14日（土）

1部／午後5時30分～午後7時

おたのしみタイムは午後6時30分から

2部／午後6時45分～午後8時15分

おたのしみタイムは午後7時45分から

●場所：北斗市立図書館本館及び総合文化センター小ホール

●事前申込について

次のいずれかの方法で事前申込をお願いします。なお、小学生・未就学児が参加する場合は保護者同伴が必須となります。



① 図書館に申込の電話をする。

北斗市立図書館／☎74-2071

② 左の二次元コードを読み取って、インターネットで申し込む。申込時に希望の時間帯をお知らせください。



申込期限は10月4日（水）です。

児童書の無料譲渡会

●日時：10月28日（土）午前10時～12時

●場所：北斗市公民館

※北斗市民文化祭と併せて開催します

10月の特設コーナー

★『働くこと・休むこと』

どちらも私たちの生活には必要なことです。この2つのテーマで選書した本を紹介いたします。（本館・分館）

※分館は10月中『休むこと』の展示のみです。

★『新聞で紹介された本』（本館）

今年4～9月、主に北海道新聞書評欄で紹介された本を一挙、展示します。

★『秋の本』（本館）

絵本を中心に「秋」をテーマにした児童書を紹介。秋の楽しみがいっぱい詰まった本を、ぜひご覧ください。

★『魔法とファンタジーの世界』（本館）

秋の夜長に不思議な魔法の世界へ一歩足を踏み入れてみませんか？

（北斗市立図書館司書 荒竹 規子）

文化団体協議会サークル紹介

●函館子ども歌舞伎を育てる会北斗支部

函館子ども歌舞伎を育てる会では、函館市在住の市川団四郎師匠指導の下、北斗市・函館市在住の小学生から高校生まで16名が在籍しています。

昨年は、北斗市文化団体協議会へ加盟して初めて、第17回北斗市民文化祭で子ども歌舞伎を披露しました。

昨年11月には、函館市民会館大ホールにおきまして本公演を行いました。



第13回函館子ども歌舞伎本公演を行った会員たち

●ズンバサークルZTY

場所／北斗市公民館

☆毎週月曜日 キッズズンバ

① 小学1～3年生

16時30分～17時30分

② 小学4～6年生

18時00分～19時00分

■参加費／1回300円

☆毎週月、金曜日 夜ズンバ

19時30分～20時30分

■参加費／1回300円

※同伴の中学生以下は無料。

☆毎週火曜日 SALSATION®(サルセーション)
13時30分～14時30分

■参加費／1回500円

※同伴の中学生以下は無料。

ズンバとは、ラテン系の音楽に合わせて踊るダンスエクササイズです。インストラクターの動きを見よう見まねで踊るので、振り付けを覚える必要はありません。老若男女、誰でも簡単に楽しめてラテン系のノリが癖になります。

和気あいあい、心優しい仲間が集い楽しく踊って、楽しく会話をして帰るといふ、緩く気さくなサークルです。

今回は、日本の伝統芸能である歌舞伎を愛する「函館子ども歌舞伎を育てる会北斗支部」とラテン音楽に合わせて踊る「ズンバサークルZTY」をご紹介します。

10月28日（土）、29日（日）に北斗市総合文化センターかなでる、北斗市公民館にて「第18回北斗市民文化祭」を開催します。

いろいろなサークルが、さまざまな発表を行いますので、ぜひご来場ください。

（北斗市文化団体協議会

事務局長 小野 育子）

夏のスポーツイベントレポート &運動は脳にとって最高のエクササイズ

令和5年度ラジオ体操コンクール

7月9日(日) 北斗市総合体育館で「令和5年度ラジオ体操コンクール」が開催されました。今年で8回目を迎えたコンクールには、全24チーム、総勢140名が出場しました。新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いたため4年ぶりに観客制限を設けず、参加者は昨年より20名増えて大盛況のうちに終了することができました。

コンクールは、市内小学校や北斗スポーツクラブから多彩な顔触れのチームが参加し、ラジオ体操を通じた多世代交流の場になっています。

演技の発表は「規定の部」(18チーム)と「フリーの部」(6チーム)に分かれて行われました。どのチームもラジオ体操の正確さや、表情、躍動感、団結力等の芸術性を意識して、コンクールに向けて練習を積んできた成果を発揮しました。

北斗市では、市民の体力向上と健康の保持・増進を図るとともに、「いつでも、どこでも、だれでも」身近にラジオ体操に親しみ、子どもからお年寄りまで一緒に取り組める地域コミュニティの手段と

してラジオ体操の普及を目指しており、ラジオ体操コンクールは多世代へのラ

ジオ体操の普及と啓発に大きく貢献しています。今後もラジオ体操の更なる普及と多世代交流の場として、ラジオ体操コンクールが更に発展・充実することを願っています。

令和5年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が、8月4日(金)から6日(日)に北斗市総合体育館で開催されました。全国の予選を勝ち抜いた高校生力士が集い、力と技術を競って真剣勝負が繰り広げられました。また、伝統的な相撲の魅力をじっくり堪能することができた大会となりました。

轟かせ魂の鼓動北の大地へ 大空へ

会場では多くの観客が声援や拍手で会場を盛り上げ、選手たちに勇氣と力を与えました。未来の相撲界をけん引する可能性を秘めた選手たちの戦いに、多くの人が感銘を受けたことと思います。また、



最優秀賞を受賞した島川 Eight

実際に会場へ足を運ぶと、大会の成功には選手たちとともに、裏方として大会運営を支える多くの方々の努力や苦勞があることを実感することができました。会場準備や運営、競技スケジュールの調整など、多岐にわたる業務を行う方々の姿に感動しました。

高校生力士の皆さん、大会を運営された皆さん、素晴らしい感動をありがとうございました。

運動は脳にとって最高のエクササイズ

少子高齢化が進むとともに、忙しい生活や環境の変化に伴い、私たちの健康への関心が高まってきています。また、SNSなどの影響もあり、病気の予防や心理的な健康への関心も高まってきています。

さて、近年の研究では、運動が身体の健康にはもちろん、脳の機能や心理的な健康にも重要な効果をもたらすことが明らかになってきたそうです。

そこで、今回はスウェーデンの精神科医で世界的ベストセラーとなった『スマホ脳』の著者アンデシユ・ハンセンの『運動脳』から、運動が脳の機能や心理的な健康にどのような影響をもたらすの



大迫力の取組

かご紹介します。

学習や認知機能の向上が期待される

さまざまな実験から、体を活発に動かした人の脳は機能が向上し、脳が若返ることが判明したそうです。具体的には、定期的にウォーキングをしている人は、自発的に行動する、計画を立てる、注意力を制御するといった重要な機能が向上したそうです。

最もすぐれたストレスの解毒剤

「ストレス」と聞くと、負のイメージを抱いてしまいがちですが、神経を研ぎ澄ませ、集中力を高める役割もあります。しかし、過度なストレスに長期間さらされると、思考が混乱したり心身に不調が出たりしてしまいます。そのストレスの原因となるのが「コルチゾール」という副腎皮質から分泌されるホルモンです。研究によると、定期的に運動をしているとコルチゾールの分泌が抑えられ、ストレスに対する抵抗力が高まるというのです。単なる健康維持の手段ではない

著者は、個人の運動習慣が認知能力、注意力、創造性、ストレス耐性などを与えるポジティブな影響を強調しています。そして、運動が単なる健康維持の手段にとどまらず、脳と心の健康を向上させる重要な役割を果たす可能性があることを示唆しています。

(北斗市スポーツ推進委員 澤田 琢也)

ほくと遺跡ものがたり

遺跡が語る北斗の歴史 第11回

はるかむかし、旧石器時代・縄文時代から現代に至るまで、一万有余年の間にこの北斗の地で営まれ続けた人類の歩み―「コーナー」では、こうした北斗の歴史について、「遺跡」に焦点をあてて紹介します。今回は前回に引き続き、北斗市に数多くのこる箱館戦争にまつわる遺跡や記録について触れていきたいと思います。

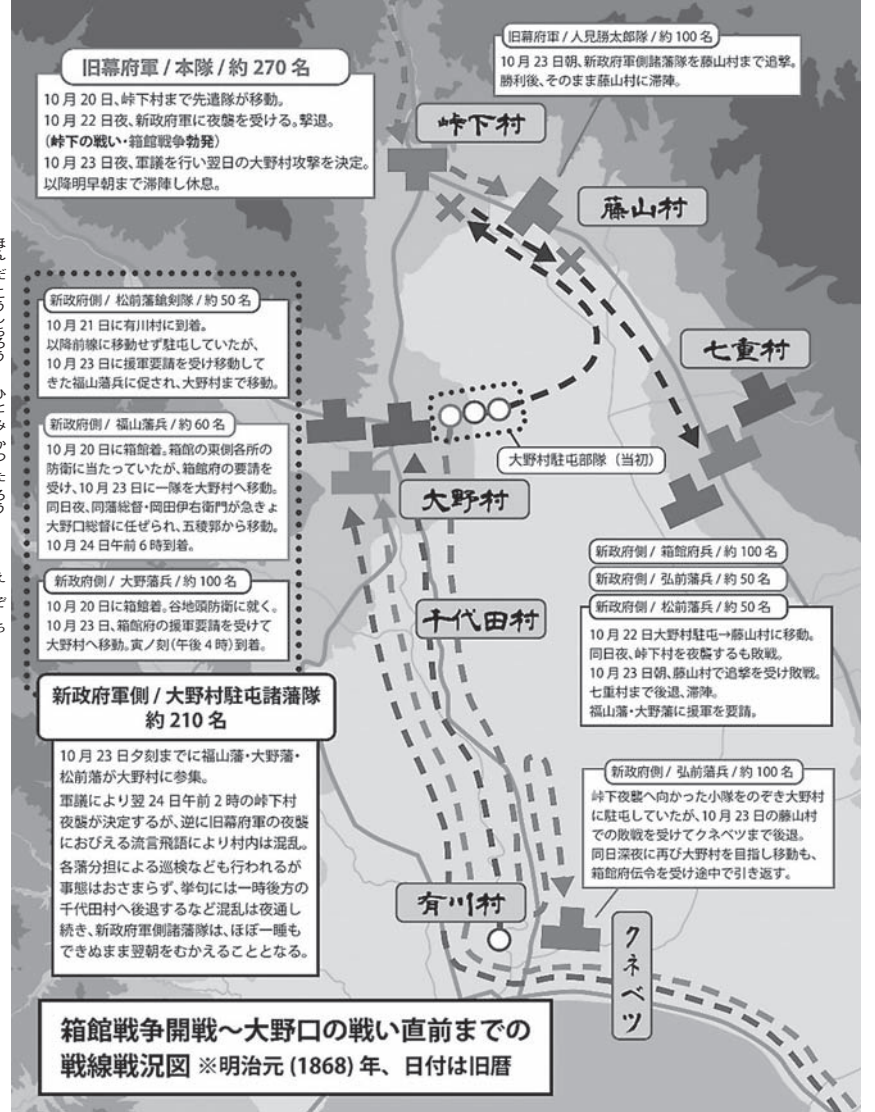
今回は、長く続いた武士の時代から新しい時代へと移り変わる中で起きた最後の戦いである箱館戦争に至る経緯とその開戦前夜までお話ししました。今回はそれに続き、箱館戦争の勃発、そして北斗市地域で戦われたその緒戦かつ最初の大規模戦闘である「大野口の戦い」（通称：意富比神社の戦い）について紹介します。

なお、「大野口の戦い」については、3年前より当館において旧幕府側16・新政府側19の合計35の当時資料から情報を抽出・整理・分析することにより、当時の戦いの詳細を探る研究を行っています。今回お話しする内容はそれに基づきますので、おそらく今まで「意富比神社の戦い」として聞いたことがあるお話と大分違うところがあると思います。

新たな資料の発見や研究の成果により今までわからなかった部分が埋められ、その結果かつての説が訂正されることは歴史を研究する上ではつきものです。

また、それぞれの情報が当時の記録に基づいた確認（考証）がなされないまま、そして情報の出所が不明なまま伝言リレーのように伝えられていくと、いつしか本来の姿から変わってしまっていくことも「読み物としての歴史」がたびたび陥りがちな落とし穴です。

こうしたことを踏まえ、常に知見を広め研究を絶やさず、折々にその内容を較正（正しい方向に直すこと）し続けていくことは、地域の歴史を伝えていくうえでとても大切なことです。今回のお話は、そういった取組の一例になります。



図・箱館戦争開戦～大野口の戦い直前までの戦線戦況図

前置きが長くなりましたが、いよいよ本題に入っていきます。時間は前回の文末からやさやかなのぼります。明治元年10月20日、旧幕臣らを救わずかな望みをつなぐため榎本武揚ら旧幕府軍は鷺ノ木村（現・森町鷺ノ木）に上陸、本多幸七郎・人見勝太郎らに蝦夷地滞在開拓の嘆願書を託し箱館府知事・清水谷公考の元へと送り出します。

しかしその願いもむなしく、箱館府は旧幕府軍の迎撃をすでに決定していました。当時の箱館府の兵力は常備兵力である在任隊・新兵隊、かねてより有事の際は戸切地陣屋からの部隊の供出を約束していた松前藩（このためこの時戸切地陣屋はほぼ空の状態でした）、援軍として17日に到着した弘前藩、20日に到着した

大野藩（現・福井県）・福山藩（現・広島県）の合わせて約1300名でした。このうち大野に駐屯していた箱館府兵・松前藩兵・弘前藩兵約200名は2日の奇襲を決め藤山村（現・七飯町藤城）まで移動。同日未明、隣接する峠下村（現・七飯町峠下）まで歩を進めていた旧幕府軍使者らに対し夜襲をしかけます（峠下の戦い）。これが、この後約半年間に渡る箱館戦争の幕開けでした。この新政府側諸藩隊の夜襲は、使者ら

に続いて大川正次郎・滝川充太郎らが率いる伝習隊主力が到着していたこともありあえなく撃退。敗れた新政府側は藤山村まで後退、さらに翌23日には旧幕府軍の追撃を受け後方の七重村（現・七飯町本町）まで後退します（以降この松前藩兵は箱館府兵と行動を共にし戸切地陣屋に戻ることはありませんでした）。加えて大野村の残存兵力も後方の有川（現・北斗市中央）まで後退してしまいます。

この事態を受け箱館府は同日、大野口・七重口（「〓口」は「〓方面」を指す当時の表現です）二方面での迎撃を決定。箱館山麓沿岸を守っていた大野・福山の両藩にも援兵を要請します。これを受けまず福山藩兵一小隊が移動を開始。途中有川村で21日の到着以降そこで停滞していた松前藩の鎗剣隊約50名を発見、彼らを促し共に大野村へ到着しています。同日午後4時までには大野藩も到着。方面指揮官（総督）は不在でしたが、ひとまず三藩で合議し翌24日早朝2時に峠下村へ夜襲をかけることを決めます。

それと丁度同じ頃、ようやく箱館府は大野口の総督を福山藩の岡田伊右衛門に命じ、これを受け岡田は五稜郭から大野村へ向け急ぎ移動を始めます。

一方大野村では日付が変わるあたりから徐々に「旧幕府軍が逆に夜襲をしかけてくる」との噂が広まり始め、これによ

り村内は激しく動揺します。巡回を強化するなどの対策もむなしく、もはや予定の夜襲の時刻になっても事態は収まらず、午前2時頃、新政府側諸藩隊はひとまず大野村の南隣・千代田村（現・北斗市千代田）まで後退することを決めます。

その後夜襲が来ないことを確かめて大野村に彼らが戻ったのは午前3時半〜4時頃になってからでした。つまり彼らは虚報に右往左往しながら一睡もできずに24日の朝を迎えることになった訳です。

一方この間、旧幕府軍は23日のうちに翌朝の進撃を決して以降はそれに備え休養しており、一切動いていません。

混乱の夜を過ごした大野村に夜を徹して駆けた総督・岡田が到着し、ようやく総員での軍議を開始できたのは早晩6時のことでした。そうして改めて全隊での進撃に方針を決した朝7時、本陣に「一ノ渡（現・北斗市市渡）村境に旧幕府軍来襲す」の急報がもたらされます。

時間はやや遅り朝6時ごろ、大野村本陣から二十町（約2.2キロメートル）北の一ノ渡村内（現・市渡大野新道交差点付近）まで偵察に出ている大野藩斥候が、接近する旧幕府軍を確認。大野の本陣へと伝令を走らせるとともに、自らの迎撃拠点を採した後退し、「二・三丁（約33

0メートル）ほど戻ったところで「氏神八幡宮」を見つけ、彼らはここでの防戦を決めます（以上『箱館戦争実記』より）。

この「八幡宮」ですが、長らくこれが意富比神社であると考えられてきました。

しかし、記録が書く通りの道筋をたどると、彼らが拠ったのは位置的に見て現在の市渡稻荷神社であることがわかります。なお同社は、旧大野地域で唯一歴史上「八幡宮」として記録がのこる神社でもあります（『松前下蝦夷地紀行』1805年）。

前夜十分な休養を取った旧幕府軍は、路面凍る寒さの中大島圭介率いる伝習隊が万全の体制で進軍。このとき大島は部隊を自らの本隊と本多・大川・滝川らが率いる分隊とに分けていますが、これは隊同士で巧みに連携し、ライフルの長射程・高威力を活かした挟撃による十字砲火で敵を一方向的に殲滅可能な、洋式軍学に長けた彼らならではの部隊編成でした。

この戦術により、まず「八幡宮」に陣した大野藩兵・援軍に來た松前藩兵は三方からの「弾丸降ル事雨ヨリモ甚シ」（『箱館戦争実記』）という激しい砲火になす術なく敗退・退却。次いで福山藩兵が救援に來るもまた「左右ヨリ逼迫」（『阿部正恒家記』）する十字砲火の前になす術なく後退（この時意富比神社付近までさがつ

た可能性はあります）。最後は文月側から迂回してきた滝川隊の「既二後ヲ断タントスルノ勢」（『阿部正恒家記』）の前についに戦線は完全に崩壊。新政府軍側諸藩隊は途上「敵の砲撃に利することになる」と千代田村・一本木村の家々に火を放ちながら久根別・有川へと逃走します（こうした戦闘経過を見るに、かつて「意富比神社の戦い」と呼ばれた戦いは、その実一ノ渡から本郷・大野村全域を舞台とした戦闘であることから、当時この方面一体を指し史書にもある語をとり「大野口の戦い」と呼ぶのが適当でしょう）。

戦闘時間わずか1時間余り（『南柯紀行』『土井利恒家記』）。旧幕府軍側の戦死1名・負傷3名に対し、新政府側の戦死21名・負傷7名・生死不明8名。戦闘と呼ぶにはあまりに一方的なこの差は、たとえば松前藩鎗剣隊のような旧時代の部隊と、諸外国に並ばんと洋式軍学を学びその運用に習熟した伝習隊らとの差でもあったでしょう。もはやこの時代の戦闘に、剣術・槍術・和式砲術など旧武術の活躍の場は存在しなかったのです。

なお、この後周辺の鎮撫に出た部隊の接近を見て、残りごくわずかな守備隊は戸切地陣屋を自焼し撤退しています。次回は箱館戦争の狭間、1年目と2年目の間の出来事についてご紹介したいと思います。（郷土資料館 時田 太郎）

チケット好評発売中!!

芸能界最強の占い師
ゲッターズ飯田
開運トークライブ

結婚 恋愛 健康 仕事 金運
開運のヒントが盛りだくさんのトークショー

※さらに!当日は抽選で
直接占ってもらえる
チャンスあります!

開催日 2023年 **11月25日(土)**
イベント会場 **北斗市総合文化センターかなで〜る 大ホール**
(北海道北斗市中央通2丁目23-1)

1 開場 11:30 2 開場 15:00
開演 12:00 開演 15:30

※物販販売は開演の45分前から行います。

書籍
「ゲッターズ飯田の
五星三心占い2024」
2023年9月4日(月)
発売!

MC:おくまん

●チケット料金
3,000円
全席指定 負担500円増し
※未成年者の入場はご遠慮ください

お問い合わせ先 北斗市かなで〜る協会事務局(かなで〜る内) TEL:0138-74-2000
※本会館に案内

チケット発売日
かなで〜る協会会員先行発売
2023年8月22日(火)10時から
一般発売
2023年8月22日(火)10時から

チケット取扱い
・北斗市総合文化センター
・北斗市公民館(平日のみ)
・北斗市七重演習所(平日のみ)
・北斗市西辺地支所(平日のみ)
・図書館音楽ホール
・図書館
・七重町文化センター
・ローソンチケット
(祝日のみ10時から)

【主催】オフセンター 【共催】北斗市かなで〜る協会

夜の図書館
— NIGHT LIBRARY —

夜...灯りのついていない暗〜い図書館でステキな本を
探してみませんか?
いつもどちがう図書館に、ドキドキ、ワクワク。
コンサートやたのしいおはなし会もあります。

と き 令和5年10月14日(土)
1部 17:30~19:00
2部 18:45~20:15

と ころ 北斗市立図書館(本館)

N.B.はくとウインドオーケストラによる
歓迎コンサート&おたのしみタイム
会場:北斗市総合文化センターかなで〜る 小ホール
次の時間帯に、ハロウィンにぴったりの演奏と楽しい
おはなしをお届けいたします。
1部 18:15~19:00
2部 19:30~20:15

参加には次の方法で**事前申し込み**が必要です。
・図書館に電話で申し込み
・インターネットで申し込み
申込の期限は、10月4日(水)です。
※小学生、未就学児の参加は保護者同伴でお願いします。

☆お問い合わせは、北斗市立図書館(TEL74-2071)へ!

主催:北斗市教育委員会

第17回北斗市音楽祭

日 時/11月12日(日)
午前10時00分
会 場/総合文化センターかなで〜る 大ホール
問い合わせ/教育委員会社会教育課



第18回北斗市民文化祭

日 時/10月28日(土)・29日(日)
午前9時00分
会 場/28日・29日 展示部門
総合文化センターかなで〜る・北斗市公民館
29日 舞台部門
総合文化センターかなで〜る大ホール
問い合わせ/教育委員会社会教育課

北斗市少年少女ドッジボール大会

日 時/11月19日(日) 午前9時
会 場/北斗市総合体育館
対 象/市内在住の小学3~6年生
種 目/①小学3・4年生の部
②小学5・6年生の部
申 込/11月2日(木) 午後5時まで
問い合わせ/北斗市総合体育館



令和5年度教育広報編集委員会

- ◎発行責任者 北斗市教育委員会 教育長 永田 裕
 - ◎編集長 北斗市校長会 校長 星 正樹 (石別中学校)
 - ◎編集委員 北斗市教頭会 教頭 岩本 宜之 (石別中学校)
 - 北斗市内教職員 養護教諭 今 香織 (石別小学校)
 - 教諭 塚原 智子 (市渡小学校)
 - 教諭 生田 遼河 (久根別小学校)
 - 教諭 會津 聡子 (茂辺地中学校)
 - 教諭 吉澤 優子 (上磯中学校)
 - 教諭 釘田 芳紀 (北斗高等支援学校)
 - 北斗市学校保健会 養護教諭 大塚 七重 (萩野小学校)
 - スポーツ推進委員会 委員長 安達 孝義
 - 北斗市文化団体協議会 事務局長 小野 育子
- ◎事務局: 北斗市教育委員会社会教育課